



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メガネトップ

コード番号 7541 URL <http://www.meganetop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 富澤 昌宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 蓬生 満

TEL 054-275-5008

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	47,588	19.6	7,481	85.1	7,564	88.8	4,163	110.4
23年3月期第3四半期	39,778	—	4,040	—	4,007	—	1,978	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	92.12	—
23年3月期第3四半期	43.74	—

(注)1. 当社は平成23年10月1日をもって普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 22年3月期第3四半期は連結、23年3月期第3四半期は非連結の財務諸表を作成しているため、23年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	34,318	19,604	57.1
23年3月期	29,982	16,174	53.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 19,604百万円 23年3月期 16,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	18.00	24.00
24年3月期	—	6.00	—		
24年3月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,800	18.4	9,230	71.3	9,320	71.6	5,160	92.7	114.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	45,492,477 株	23年3月期	45,492,477 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	302,226 株	23年3月期	294,484 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	45,195,265 株	23年3月期3Q	45,240,511 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況が続きました。企業収益・設備投資は弱い動きとなり、輸出・個人消費は横ばい、生産は持ち直しておりますが、欧州の政府債務危機やデフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることから、景気の先行きは依然不透明となっております。

眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きも出てきております。

このような状況のもと、当社は①人材教育②商品開発③広告戦略④店舗開発に重点的に取り組み、顧客の利便性・満足度の向上に努め、企業力強化を図ってまいりました。

商品面につきましては、機能性の高いPBフレームの開発に注力し、超軽量・超弾性ポリアミド樹脂フレーム「フリーフィット」、国産のフレックスβチタンフレーム「ゼログラ」に加え、軽さと装着感にこだわったスポーツ設計の「アイアスリート」を投入しました。また、パソコン用レンズ・熱に強いレンズ・曇りにくいレンズなど特殊加工の高機能レンズを提供し、顧客の幅広いニーズに対応しております。

広告面につきましては、レンズ品質と高機能レンズを訴求したTVCMに岡江久美子氏を、「アイアスリート」のTVCMには松岡修造氏とベッキー氏を起用し、商品の認知度向上に大きな成果をもたらしました。

店舗展開につきましては、直営での新規出店は「眼鏡市場」39店舗、「アルク」2店舗、直営での退店は「眼鏡市場」6店舗、「アルク」2店舗でした。FCでの新規出店は「眼鏡市場」25店舗、FCでの退店は「アルク」1店舗でした。

この結果、売上高47,588百万円（前年同四半期比19.6%増）、営業利益7,481百万円（前年同四半期比85.1%増）、経常利益7,564百万円（前年同四半期比88.8%増）、四半期純利益4,163百万円（前年同四半期比110.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①流動資産

流動資産の残高は14,616百万円（前事業年度末は10,653百万円）で、3,963百万円の増加となっております。現金及び預金の増加（3,332百万円）が主な要因であります。

②固定資産

固定資産の残高は19,701百万円（前事業年度末は19,328百万円）で、372百万円の増加となっております。建物の増加（230百万円）が主な要因であります。

③流動負債

流動負債の残高は11,610百万円（前事業年度末は9,708百万円）で、1,901百万円の増加となっております。支払手形及び買掛金の増加（600百万円）、短期借入金の増加（725百万円）、未払法人税等の増加（618百万円）が主な要因であります。

④固定負債

固定負債の残高は3,103百万円（前事業年度末は4,099百万円）で、995百万円の減少となっております。社債の減少（220百万円）、長期借入金の減少（745百万円）が主な要因であります。

⑤純資産

純資産の残高は19,604百万円（前事業年度末は16,174百万円）で、3,429百万円の増加となっております。利益剰余金の増加（3,440百万円）が主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年11月7日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。この適用により、当第3四半期会計期間に行った株式分割は、前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額 65円61銭

(3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,867,320	6,199,849
受取手形及び売掛金	1,076,112	1,409,064
商品及び製品	4,746,981	4,880,925
仕掛品	141,645	166,283
原材料及び貯蔵品	70,736	66,226
その他	1,752,156	1,895,888
貸倒引当金	△1,514	△1,436
流動資産合計	10,653,438	14,616,801
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,360,220	6,591,211
その他（純額）	3,969,187	4,054,634
有形固定資産合計	10,329,408	10,645,846
無形固定資産	220,017	248,868
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,468,759	7,537,232
その他	1,323,676	1,275,907
貸倒引当金	△13,033	△6,483
投資その他の資産合計	8,779,402	8,806,656
固定資産合計	19,328,827	19,701,371
資産合計	29,982,266	34,318,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,282,636	1,883,554
短期借入金	690,800	1,416,700
1年内返済予定の長期借入金	1,780,388	1,200,403
未払法人税等	1,315,603	1,934,537
賞与引当金	810,097	490,296
役員賞与引当金	36,000	33,750
その他	3,792,878	4,650,828
流動負債合計	9,708,403	11,610,070
固定負債		
社債	580,000	360,000
長期借入金	2,204,406	1,458,949
役員退職慰労引当金	377,832	408,589
その他	936,972	876,152
固定負債合計	4,099,211	3,103,691
負債合計	13,807,614	14,713,761

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,336,771	2,336,771
資本剰余金	2,667,521	2,667,521
利益剰余金	11,300,776	14,740,785
自己株式	△128,479	△134,621
株主資本合計	16,176,588	19,610,456
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,937	△6,045
評価・換算差額等合計	△1,937	△6,045
純資産合計	16,174,651	19,604,411
負債純資産合計	29,982,266	34,318,172

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	39,778,352	47,588,753
売上原価	12,462,348	14,935,558
売上総利益	27,316,004	32,653,194
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	8,032,647	8,634,275
賞与引当金繰入額	390,267	483,626
役員賞与引当金繰入額	27,000	33,750
役員退職慰労引当金繰入額	25,711	30,756
その他	14,799,449	15,989,628
販売費及び一般管理費合計	23,275,076	25,172,037
営業利益	4,040,927	7,481,157
営業外収益		
受取利息	33,058	34,989
受取配当金	1,038	1,032
受取賃貸料	332,287	336,518
その他	51,074	77,019
営業外収益合計	417,459	449,561
営業外費用		
支払利息	72,352	52,313
賃貸収入原価	203,332	199,532
為替差損	152,209	78,815
その他	23,129	35,834
営業外費用合計	451,024	366,495
経常利益	4,007,362	7,564,222
特別利益		
固定資産売却益	2,835	—
その他	192	—
特別利益合計	3,028	—
特別損失		
固定資産除却損	37,250	74,725
減損損失	60,301	85,813
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	250,734	—
その他	64,759	—
特別損失合計	413,044	160,538
税引前四半期純利益	3,597,345	7,403,683
法人税、住民税及び事業税	1,567,469	3,016,940
法人税等調整額	51,113	223,574
法人税等合計	1,618,583	3,240,515
四半期純利益	1,978,762	4,163,168

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。